



# 低炭素社会を問う

村上ゼミシリーズ 第一弾！

中学高校の理科の知識を武器にトランスサイエンスに挑む

本体1,800円+税 / 四六判・並製 / 319頁

## 地球温暖化の主犯は本当に二酸化炭素なのか？

水の惑星「地球」の奇跡、そして、なぜ生命が生存できるのかの謎に果敢に迫る — 奇跡の星持続のために

村上ゼミシリーズ I

### 低炭素社会を問う

中学高校の理科の知識を武器に  
トランスサイエンスに挑む

村上 雅人  
小林 忍

CO<sub>2</sub>は本当に地球温暖化の元凶なのか？  
その温暖化機構を徹底検証

CO<sub>2</sub>は植物の光合成に必要な気体であり栄養素の  
いしずえ、そして地球の動植物のみならず

液体の水H<sub>2</sub>Oの存在こそが、緑豊かな地球の源泉  
奇跡の星、地球が持続発展するための提言とは



シリーズ次回作  
準備中

村上ゼミシリーズII  
エネルギー問題を斬る

村上ゼミシリーズIII  
SDGsを吟味する

■世界は、いま「低炭素社会」"low carbon society" に向け急速に動いている。

2021年のノーベル物理学賞は、CO<sub>2</sub>による地球温暖化のモデル構築に与えられた。

本書では、CO<sub>2</sub>と赤外線との相互作用に焦点をあて、教員と学生が科学的知識をもとに、地球温暖化機構の真実に迫る。

■晴れた日の夜に、急速に地表面が冷える放射冷却を御存じだろうか。大気中に温室効果の大きいCO<sub>2</sub>が存在するのに、なぜ地面は急に冷えるのか。この事実はCO<sub>2</sub>の温室効果に疑問符をなげかける。

■実は、CO<sub>2</sub>は植物が光合成でつくる栄養素CH<sub>2</sub>Oの原料であり、生命の源である。

■奇跡の星、地球の持続発展のためには、一人ひとりが、常に「なぜ」「本当にそうなのか」を自分に問いかけることも大切ではないだろうか。

**教養書として多方面の方にお読み頂ける本です**

#### ◆著者紹介 村上雅人

理工学研究所所長、日本工学会アカデミー理事、

芝浦工業大学名誉教授、日本数学検定協会

評議員、岩手県DXアドバイザー、

ユニベルシタス研究所顧問、

「なるほどシリーズ」(海鳴社) 24冊他、多数の著者

小林忍

理工学研究所主任研究員

ご注文FAX **03-5390-2213** (銚谷書店) 返品条件付き：返品時は版元了解が必要です

銚谷書店を通じて、全ての取次番線での手配が可能です

書店印・番線印	ご注文数	ご注文日
ご担当者名 ( )	冊	
<p><b>低炭素社会を問う</b> 村上雅人 小林忍 著</p> <p>ISBN 978-4-910879-00-0 C1040 本体1,800円+税 / 四六判・並製 / 319頁 出版 飛翔舎 (取引コード：7150)</p>		